

令和6年度事業計画

1. 基本方針

令和3(2021)年度に策定した第2次中長期計画『マスタープラン』も4年目となり、私たちの目指すビジョン『高齢者が社会の担い手として生涯現役で活躍することの出来る幸せな長寿社会の創造』実現に向けて具体的な取り組みを進めます。また、長期間苦しめられた感染症対策や、いつ発生するか判らない自然災害等の備えも怠らず、危機管理策も踏まえて参ります。

さて、少子・高齢・人口減少社会に持続可能な地域活力を保持する為には、我々元気な高齢者の活躍が最も有力です。また、年齢にかかわらず活躍できる社会の実現には、世代間を超えたシルバー人材センター事業への理解と支持が不可欠だと考えます。

門真市シルバー人材センターは、目指すべき年齢、性別、障がい、国籍、貧富などの垣根の無い共生社会の実現に向けて、その先駆けとして、幾つになっても出番がある年齢の垣根を超えた社会の実現に向けて事業を進めて参ります。その為には、より多くの高齢者の皆様により積極的に事業に参画していただくことが不可欠であります。

一方、我が国の高齢者雇用・就業対策は、『企業における高齢者雇用拡大』、『地域における多様な雇用・就業機会の確保』、『企業や高齢者を支えるため支援』の3つを施策の柱としており、私たちシルバー事業も従来の「生きがい就業や健康維持のための就業」、「ライフワークにあった働き方」に加え、「生活を支える就労」「ダブルワーク」など多くの高齢者が活躍できる社会実現に向けて、労働力としての地域社会の支え手事業を進めていく必要があります。加えて、『魅せる広報活動』として、私たちが最も得意とする動員力を活かし、イベントへの協力・協賛やボランティア活動を通じて社会に参画し、豊かな経験と知識を持つ我々高齢者が地域社会の担い手として活躍できる場所を開拓して参ります。

また、本年度は、フリーランス新法（特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）への対応や安全適正就業の推進を視野に入れながら、社会環境の変化や高度情報化社会に柔軟に対応し、地域の特性を活かした戦略的な事業展開や多くの会員の皆様と協働した「魅せるセンター」に取組み、新たな時代の先進的なシルバー人材センター事業の活躍事例『新・かどまモデル』を実現させてまいります。

尚、本年は、新たな活動拠点として、新しいセンター事務所を建設し移転を進めます。

2. 『新・かどまモデル』の骨子

事業の現状を分析し、より戦略的な事業のイノベーションを目指します。

- 【1】 会員数を増やす
- 【2】 就業機会を拡大する
- 【3】 『魅せる広報活動』を進める
- 【4】 安全就業・健康維持を推進する
- 【5】 公益社団法人として統治・管理を強化する

3. 令和6年度事業運営の数値目標と取り組み

基本方針に基づき、令和6年度の数値目標を定め、事業運営に取り組み、目標達成を目指します。

(1) 数値目標

① 正会員数

	令和6年度（目標）	令和5年度（実績）	令和5年度（目標）
正会員数（人）	1,700	1,561	1,700
【内】新入会者	220	190	220

② 契約件数

	令和6年度（目標）	令和5年度（実績）	令和5年度（目標）
受託事業（件）	2,600	2,472	5,000
派遣事業（件）	330	323	350

③ 契約金額

	令和6年度（目標）	令和5年度（実績）	令和5年度（目標）
受託事業（千円）	341,000	339,351	380,000
派遣事業（千円）	330,000	316,012	340,000

④ 就業率

	令和6年度（目標）	令和5年度（実績）	令和5年度（目標）
就業率（%）	92	92.2%	92

⑤ 就業実人員

	令和6年度（目標）	令和5年度（実績）	令和5年度（目標）
受託事業（人）	1,050	1,028	1,300
派遣事業（人）	470	459	520

⑥ 就業延人員

	令和6年度（目標）	令和5年度（実績）	令和5年度（目標）
受託事業（人）	105,000	103,931	114,000
派遣事業（人）	61,000	59,408	62,000

(2) 重要な取り組み

【1】DX（デジタルトランスフォーメーション）事業の活用

これからの高齢者の日常生活にDXの活用は不可欠です。全ての会員の皆様が身近な携帯端末としてスマートフォンを使いこなす必要が生じてきます。会員講師を育成し、定期的にスマホ教室を開催するなど、多くの会員の皆様にシルバーアプリのインストールを推奨します。

また、web 配信を活用した配分金明細書やタイムリーな求人情報の発信に努め、就業希望者や各種講習会等の web 受付、就業報告等のスマートフォンでのアップロード申請を可能にするなど、会員皆さんの利便性の向上と迅速な情報提供及びペーパーレス化を目指します。

加えてタブレット端末を活用した就業の履行確認や介護のサービス記録のデジタルの活用等を図ります。

【2】普及啓発事業の刷新

センター事業の普及啓発策は「魅せる広報活動」が最も有効な手段です。多様な場所で、活躍する会員の皆様の姿を積極的に発信します。

【3】女性活躍の推進

女性会員が活躍できる事業運営を目指すため、女性活躍委員会を中心としたイベントを企画し、シルバー人材センター事業への参加促進を図ります。

【4】楽農園事業

誰もが土に触れ楽しく取り組める農業を目指し、農作物の作付・育成から販売や二次加工も視野にいたした「地産地消」を目指した楽農園事業を推進します。

【5】フリーランス新法を踏まえた契約方法の見直し

令和6年秋よりフリーランス新法が適用されるに付、請負就業会員に対する条件明示を体系化・統一化し、受託内容をより分かりやすい形で就業会員へ明示します。

また、「インボイス制度」対応策として、従来の請負・委任契約から包括契約導入の可否を検討してまいります。

【6】新事務所へ移転

事務所移転計画を推進し、令和7年2月完成を目指します。

4. 具体的実施計画

【1】会員数を増やす

(1) 入会促進

1 入会手続き

- ・いつでもどこでもセンター事業が知れる Web 入会説明会を活用します。女性限定入会説明会や、講演会等に入会説明会を共催するなど、センター事業を知る機会を増やし会員の増加を目指します。
- ・ハローワーク等職業斡旋機関や一般企業と連携したPR活動を実施します。
- ・センターの組織・運営・規約を伝えるための新入会員研修会を随時開催します。
- ・入会手続きを簡略化し、入会后すぐに活躍のできる体制を構築します。
- ・大シ協の就業体験事業に協力し新入会員の獲得と事業のPRに努めます。

(四半期ごとの入会者目標)

(単位：人)

入会者数	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和5年度 実績	51	32	49	63	190
令和6年度 目標	56	35	54	64	209

2 多種多様な年齢層へのアプローチ

- ・公共施設や企業等での事業のPR活動を展開します。
- ・女性活躍委員会による入会促進を目的にした講習会やイベントを開催し、女性の入会促進を図ります。
- ・体験就業や技能講習会などを開催し入会促進に努めます。
- ・SNS、ホームページやフリーペーパー等で魅力的な就業の内容を伝え、入会促進に努めます。
- ・イベント開催やボランティア活動といった会員の活動を、SNS 等で発信しPR活動を図ります。
- ・第二層生活支援コーディネーター事業と関連の【通いの場】を活用し、入会促進を行います。

(2) 魅力的なセンターづくり

1 仲間づくり

- ・会員同士の絆を高め仲間づくりの為に公認同好会の活動を支援します。
- ・仕事だけに留まることなく、イベントやボランティア活動を通じた会員の社会参加、会員同士の仲間づくりを促進させます。

2 IT・Web の活用

- ・アプリや公式ラインアカウントを通じ配分金明細の確認、就業情報、イベントやボランティア活動にアクセスできるよう会員の利便性を向上させます。また会員のデジタル活用を推進するためスマートフォン教室等を実施します。
- ・センター事業への貢献度（ボランティアやイベントボランティア参加者等）に対し、ポイントを付与が出来る機能を検討します。

3 フレンドリーショップ制度

- ・「シルバーフレンドリーショップ」を会員にとってよりメリットがある制度とするため、会員が常に最新の情報にアクセスし魅力ある特典を利用できるための方法を検討して参ります。

4 満足度調査

- ・会員への聞き取り調査を実施し、満足度向上及び退会抑制施策の資料とします。

【2】就業機会を拡大する

豊かな能力・技術・経験のある方、ホワイトカラー層、80歳以上の方、ハンディキャップをお持ちの方等、会員の様々な経歴・環境・希望に対応し、適材適所で多種多様な仕事に対応します。

(1) 生きがい就業の推進

受託事業・労働者派遣事業・創意工夫事業により、適材適所で多種多様な仕事に対応し、生きがい就業を推進します。

1 受託事業の取組み

- ・地域で役立つ・頼られるシルバー人材センターとして、個人家庭のお困りごとへの対応に強化を図るため利用者アンケートを実施し、調査結果を分析して満足度向上を図り、就業実績を向上させます。
- ・後期高齢者会員や女性がメインとなる就業の開拓に努めます。
- ・アンケートでの調査結果や全国の事案事例・先進的取り組みを職種別研修に反映させ、就業実績向上につながるリーダー会員の育成に努めます。
- ・未就業会員の就業先確保のため、駐車場・公園・施設等の公共管理部門での一斉清掃や除草作業の拡大に努めます。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

受託事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 実績	86,845	83,056	94,300	75,151	339,351
令和6年度 目標	87,000	84,000	94,500	75,500	341,000

2 労働者派遣事業の取組み

- ・営業専門職員による市内事業者及び既存取引先への再アプローチを図り、介護・保育・運転等、人手不足分野を中心とした訪問営業活動に努めます。
- ・適正就業ガイドラインの周知を図り、請負から派遣切の移行に努めます。
- ・労働基準法を遵守し、有給休暇の付与や労働環境の改善に努めます。また、就業する会員が働きやすい環境の整備を図ります。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

派遣事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 実績	76,446	76,026	84,420	79,121	316,012
令和6年度 目標	80,000	80,000	85,000	85,000	330,000

3 職業紹介事業の取組み

- ・直接雇用にて就業する場合は、有料の職業紹介事業を行います。

4 創意工夫事業

① 訪問介護事業、総合支援事業

福祉に関する事業の核とし、介護初任者研修を終了した人材を広く募集すると同時にサービス提供責任者及び担当会員を育成し、以下の事業目標達成を目指します。また、くすのき広域連合解散に伴い、門真市内での総合支援事業の強化を図ります。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

訪問介護事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 実績	5,731	5,147	5,274	5,488	21,640
令和6年度 目標	5,500	6,500	6,500	6,500	25,000

②喫茶事業

シルバー人材センターの魅力を発信し、会員のみならず地域の幅広い世代に愛される喫茶店を目指します。また、会員の手作り作品や生鮮野菜の販売、新規メニューの開発を行います。また、休業時の施設活用方法を検討します。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

喫茶事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 実績	845	766	840	721	3,172
令和6年度 目標	930	840	920	670	3,360

③第2層生活支援コーディネーター事業

第1層生活支援事業者と連携し、高齢者の介護予防のため地域の「通い場」作り活動や他団体と協働しイベントの開催を推進させます。地域のニーズを汲み取り行政につながる相談窓口としての地位の確立に努めます。またセンター事務所にて実施中の『便利やDay』の活動域を地域に広げ高齢者の「通い場」の拡充を目指します。

(四半期ごとの目標)

(箇所)

年度	令和5年度 (実績)	令和6年度 (目標)
通いの場の数 (箇所)	20	25

④福祉有償運送事業

要介護・要支援者、障がい者の外出支援の為、福祉有償運送事業を継続し実施します。

車両を更新し予約の取り易い利便性の高いサービスを提供します。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

福祉有償事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 実績	555	501	516	433	2,005
令和6年度 目標	590	530	670	470	2,260

⑤楽農園事業

農業に親しみ触れ合う機会と就業機会の両方を獲得できる柳田町・岸和田の市内2か所のシルバー市民農園事業運営を継続します。

また、伝統野菜『門真れんこん』の収穫体験、学習体験を通じ市民が郷土を愛する機会を創出すると同時に事業を通じセンターの様々な事業活動を広く市民に周知します。また、楽農園倶楽部を組織し、高齢会員の就業の場として楽しむ農業を目指します。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

農業事業収入金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和5年度 実績	2,220	38	464	239	2,961
令和6年度 目標	2,300	50	550	270	3,170

⑥指定管理事業

市立『弁天池公園』を賑わいの有る幅広い世代に愛される市民の交流スペースとして認知いただく為、他団体と協働し様々なイベントを開催します。また、落ち葉の腐葉土再生リサイクルや防災公園としての機能強化等成長戦略を取りまとめます。

また、今年度より MIDI-KS 共同事業体により受託した『自転車対策事業』においても、市民満足度の高いサービスを提供します。

(2) 質の向上

講習・研修会の充実やお客様満足度調査のフィードバックにより就業の質を向上させます。また、会員目線・お客様目線を重視した利便性を向上させることにより、就業機会を拡大します。

1 講習会研修会開催

- ・アンケート結果や事故事例、全国の先進事例を取り入れた職種別研修を既存職域班全てにおいて実施し、当該職種に従事する全会員の方に受講していただくことで、リーダー及び次期リーダーを育成し就業の質を高めます。
- ・技能向上のための独自講習会を実施し、市民の方々の幅広いニーズに質の高い就業で対応します。
- ・スマートフォンの利用に関する支援を行なうことで、シルバーアプリを普及させ、デジタル活用に係る機会又は必要な能力における格差を是正し、就業報告等、お客様・就業会員の利便性向上を図ります。

2 利便性向上の取組

- ・発注者様からのお仕事情報のホームページ掲載、ホームページからの仕事依頼の受付の充実を図ります。
- ・お仕事依頼者に対するサービスの概算見積額の目安を表示します。
- ・会員の交代等による就業内容の変動を防ぐため、就業先の資料充実を図り就業の質の均一化に努めます。
- ・お客様アンケートを実施し、顧客満足度 85%以上を目指します。
- ・コンビニ収納・口座振替の導入を検討し、利便性向上を図ります。また、配分金明細の Web 閲覧、LINE の活用による業務連絡・情報共有等を図ります。

【3】『魅せる広報活動』を進める

センター主催イベントや各種団体等のイベント参加時に、センターの活動や主旨が広範囲に浸透する工夫を凝らした普及啓発活動に努めます。

(1) 美化ボランティア活動の推進

- ・協働できる団体や市民と連携を図り、門真市の美化活動に貢献いたします。
- ・ボランティア推進委員会を中心に、年間のボランティア清掃活動事業の年間計画を作成し、毎月第1土曜日・第3土曜日を活動日として、組織的に清掃活動を実施します。
- ・清掃ボランティアの参加者数減少に歯止めをかけるため、事務局通信やSNSを活用し、参加者の増加を募ります。
- ・地域の安全防犯活動として、青色防犯パトロールを市内全域で実施します。
- ・イベントボランティアについては、イベント実行委員会を中心に、組織的に活動を促進します。
- ・地域班別ボランティアリーダーの育成を行ない、会員への絵の円滑な情報提供と参加意欲を促進し、参加者数の増加を目指します。

(2) イベント活動

1 センターが主体となる普及啓発活動

- ・弁天池公園イベント実行委員会を組織し、本年は『門真の魅力を再発見！』をテーマに（春）『スプリングカーニバル』、（秋）『ふれ愛感謝祭』を開催します。また「シルバー便利や Day」を毎月2回開催します。

- 2 他団体が行う事業に協賛・協働しボランティア活動、普及啓発活動を実施
 - ・会員の社会参加を促進すると同時にセンターの魅力を発信するため、大阪マラソン等のボランティア活動や「ふるさと門真まつり」・「古川橋ラブリーフェスタ」・「かどま市スポーツ・レクリエーションフェスティバル」等のイベント活動に参加します。

(3) 魅せる広報活動

- ・テレビやラジオ、新聞などの情報機関に積極的に働きかけ、センターの活動や魅力について情報発信します。
- ・市内全戸配布広報紙「門真市シルバー人材だより」を年に一度発行し、全戸配布します。
- ・会員向けの機関紙「事務局通信」を毎月発行します。紙媒体での発行に代え、アプリ閲覧できるよう変更します。
- ・週刊大阪日日新聞に年間6回記事広告を掲載し会員の活躍について広く情報発信します。
- ・LINE等のSNSを活用し、事務局からの連絡・情報提供など利便性向上を図ります。
- ・ホームページを誰にでも見やすい内容に更新します。

【4】安全就業・健康維持を推進する

会員の高齢化に伴い、安全対策・安全意識の向上を図り、安心・安全就業を推進します。また、就業を通じた健康維持を推進し、福利厚生を充実させることで、会員の健康寿命の伸長を図ります。

(1) 安全就業の推進【事故0のために】

就業手順書の整備・徹底や安全研修会の充実、職域班リーダー育成体制の確立により事故発生0（ゼロ）を目指します。

1 就業の手順書の整備・徹底の取組み

- ・事故防止安全対策として、安全パトロールを実施し、業務ごとの手順書、安全マニュアル、業務仕様書、研修会資料の周知と徹底をはかります。
- ・公共の業務の仕様内容確認及び手順書作成に取組みます。

2 安全研修会（自転車・熱中症対策・天災・感染症対策等）の充実

- ・安全適正部会や安全就業推進委員会の活性化を図ります。
- ・職域班リーダーに安全に関する専門的教育を実施します。
- ・夏場の熱中症予防や高所作業の安全対策など、危険度の高い作業の管理体制を見直します。
- ・増加傾向の自転車事故の対応として、自転車ヘルメットの着用促進や自転車保険の加入推進、門真警察署の協力を得ての自転車交通安全講習会の開催などを実施します。
- ・安全標語の周知徹底により、意識の向上を図ります。

3 適正就業推進委員会による研修会の充実

- ・研修会内容の充実を図ると共に、就業における問題点やヒヤリハットの情報共有と受講者アンケートを実施します。

(2) 自己健康管理、健康診断の推進

市民健康診査の受診推奨や健康測定、生きがい就業の介護予防効果に関する共同研究事業の実施、福利厚生の実充等、健康寿命の伸長を図ります。

1 会員健康維持の取り組み

- ・ダイヤ高齢社会財団との連携により『シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する調査研究』事業を継続します。
- ・大阪府シルバー人材センター協議会の協産業医からの情報を基に、フレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニア予防運動の普及を図ります。

2 福利厚生の実充

- ・健康教室の開催や同好会活動へ支援し、会員の福利厚生を充実させます。
- ・公認同好会組織と連携し、会員募集等の活動を支援するとともに、新たな同好会の発足のお手伝いをします。
- ・会員の事業貢献度をポイント化する制度を整備し、会員に付与したポイントが還元される制度の構築を目指します。

【5】公益社団法人として統治・管理を強化する

(1) 公益社団法人の運営

1 コンプライアンスの徹底

- ・法令及び定款、諸規定に従い法人の活動状況を広く周知し事業の実充を図ります。
- ・理事会の決定に従い、迅速かつ的確に業務を遂行します。
- ・公益社団法人として、会計基準に基づいた適正な会計処理に努めます。

2 個人情報保護及び情報公開

- ・個人情報を遵守し、情報公開の適切な運用を実施します。

3 ハラスメント・人権問題の対応

- ・人権を尊重し、ハラスメント等に対しては迅速、適切に対処します。
- ・管理職職員に対し、人権研修の受講をさせます。

4 適正就業の推進

- ・法で定められた「臨時的かつ短期的、又はその他の軽易な業務」を厳守し、時間内での就業に努めます。
- ・「自主・自立、共働・共助」の基本理念を基に、グループのローテーションやワークシェアでの就業を推進します。

(2) 法人・組織体制の強化

- ・定時総会出席率（議決権行使率）の向上を図ります。
- ・理事会、三役部会長会議を中心とした運営体制を強化します。
- ・積極的に事業に参画できる会員を登用し、センター事務処理の効率化を推進します。
- ・新会員の皆様の参画で、専門部会・委員会活動を活性化させます。
- ・請求書や請求システムの改善により、出納管理業務の合理化を図ります。
- ・センター新事務所の完成を令和7年2月と定め、建築・資金計画等準備を進めます。